

C級審判員講習会

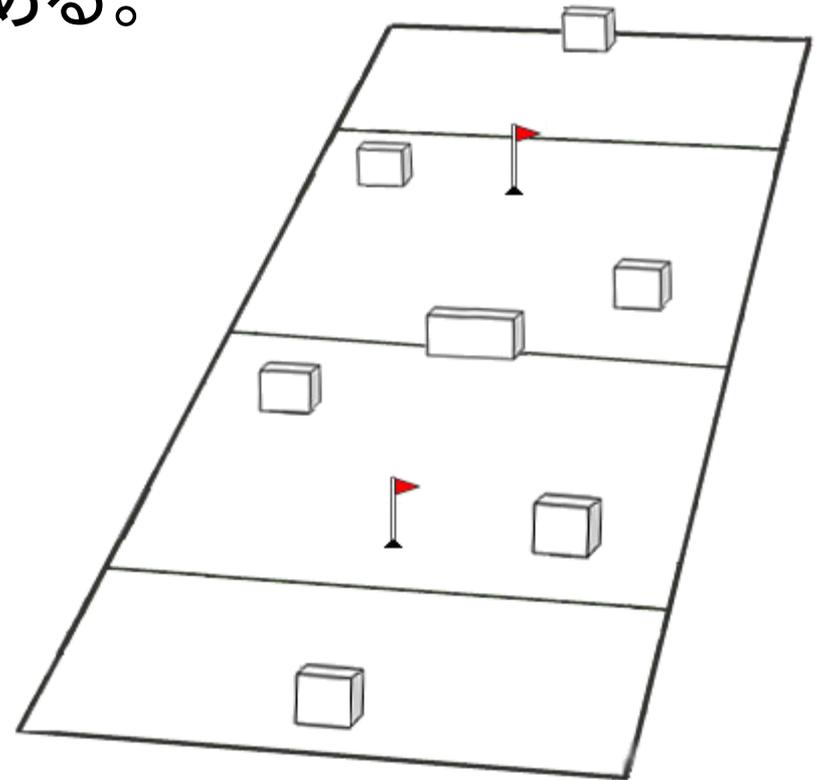


<http://www.shikoku-yukigassen.jp/>

雪合戦とは

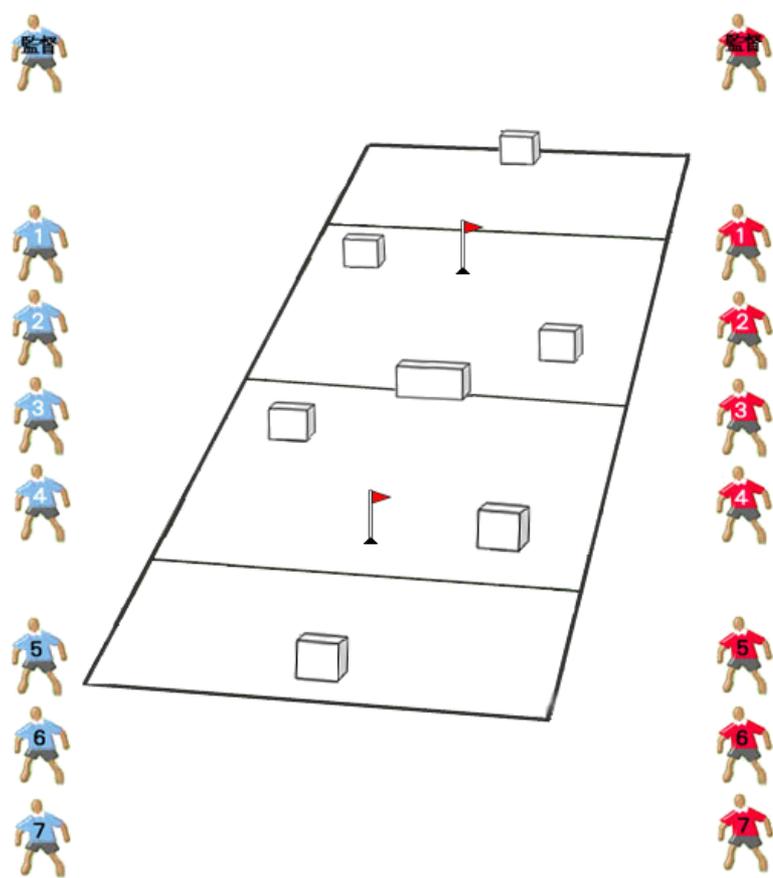
次のことを競い合う競技である。

- 相手チームの選手に雪球を当て、1人でも多くの選手をアウトにする。
- 相手チームのフラッグを奪取する。

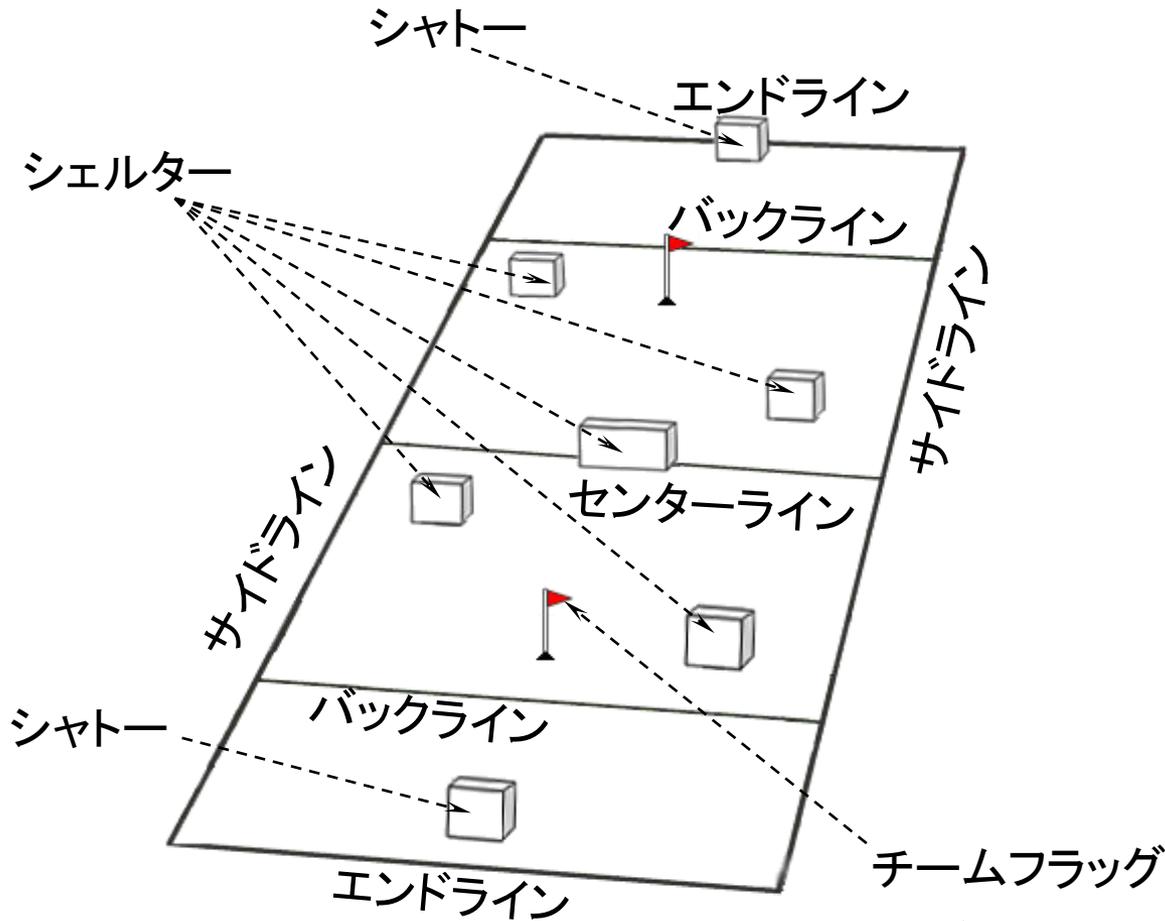


チーム構成

- 監督 1名
 (監督)
- フォワード 4名
 (1～4)
- バックス 3名
 (5～7)
- 補欠 2名



コートと用具



ヘルメット



雪球製造器

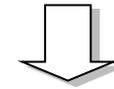


各チームで準備する

(布製で、縦50cm、横70cm)

競技時間と雪球

- 競技時間
1セット3分、3セットマッチ
- 雪球の数
1セット90個
(但し、雪球製造時間内に
製造できた数)

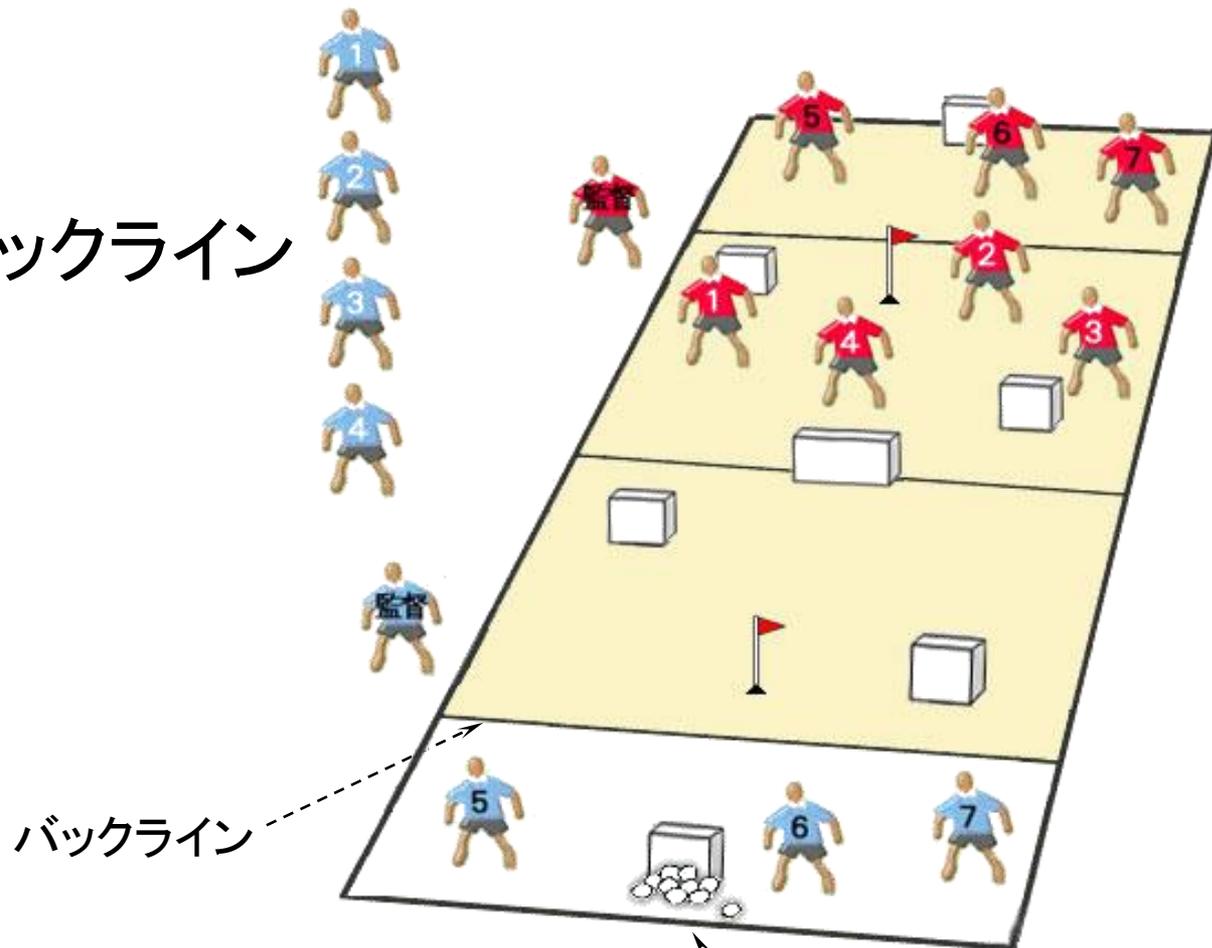


一度に45個製造可能

各試合毎の雪球製造時間内に、
1試合分270個の雪球を製造
する必要がある。

競技範囲

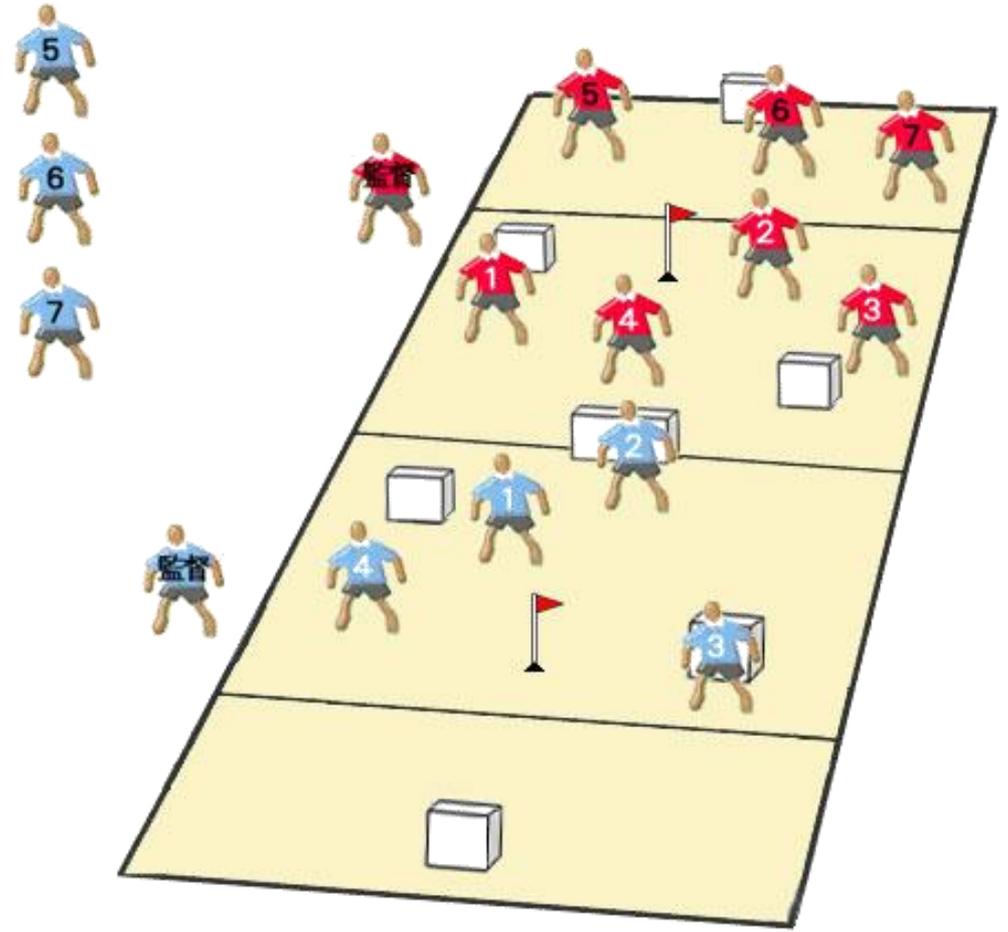
- フォワード
自コート側のバックライン
より前方全て



ショットの後ろに雪球を保管する

競技範囲

- バックス
コート全て



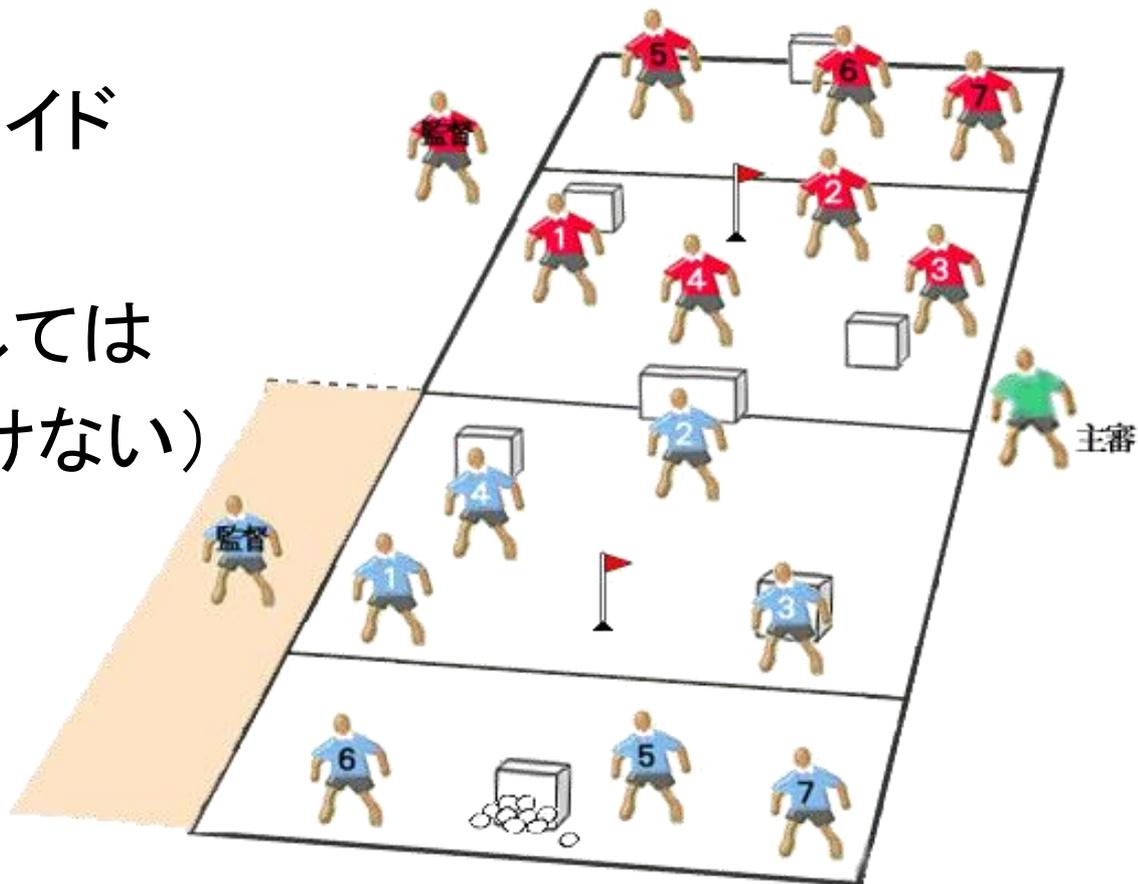
競技範囲

- 監督

主審の反対側サイド

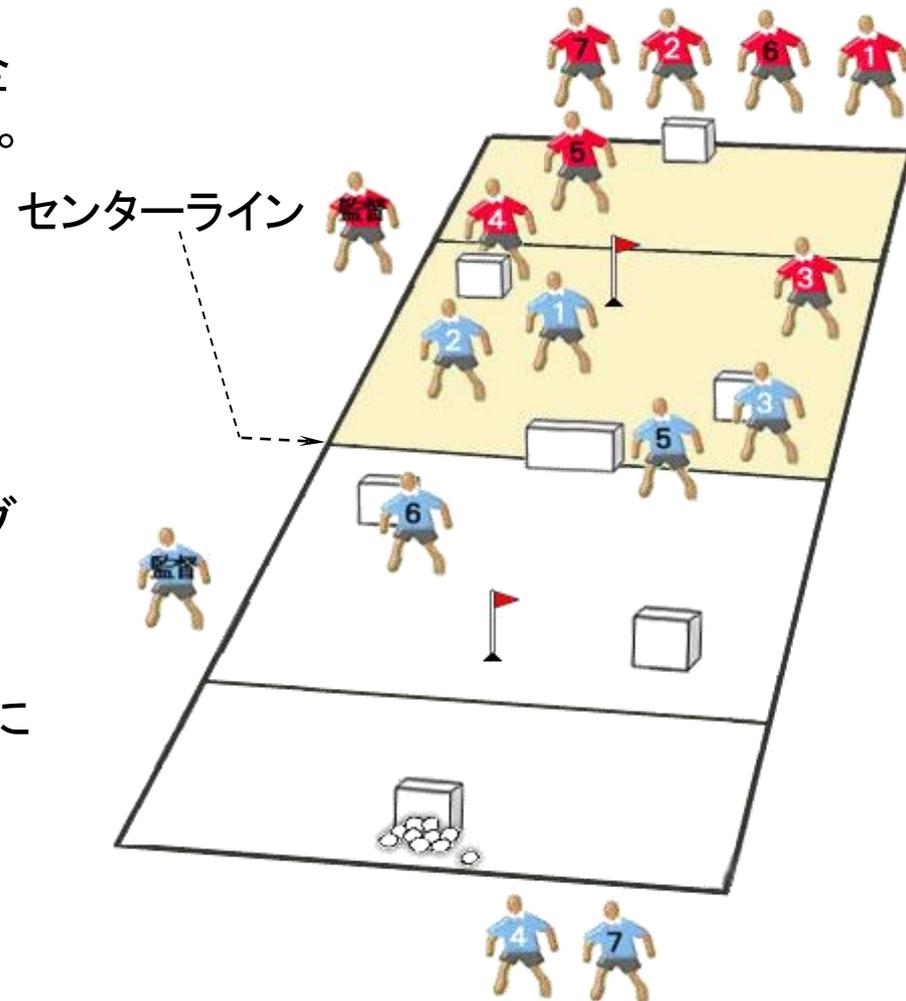
自コート側

(審判の妨害をしては
いけない)



勝敗の決定（セット毎の）

- 時間内に相手チームの競技者を全員アウトにしたチームを勝ちとする。
- 時間（3分）終了時に、コート内残り競技者の多い方のチームを勝ちとする。
- 時間内（3分）に相手チームフラッグを抜いたチームを勝ちとする。
- センターラインを越えて相手コートに4人目の競技者が入ったチームを負けとする。



最終勝敗の決定

- 最終の勝敗決定は、次による

- ★ 3セット中2セットを先取したチームを勝ちとする。
- ★ 引き分けが2セットある場合は、残り1セットを得たチームを勝ちとする。
- ★ 取得セット数が同数の場合は、それぞれのチームの3セットの合計ポイントの多いチームを勝ちとする。
- ★ 不戦勝・チーム退場の場合は、セット数2-0とする。

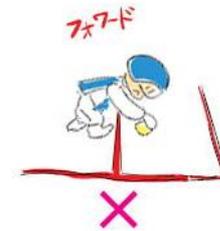
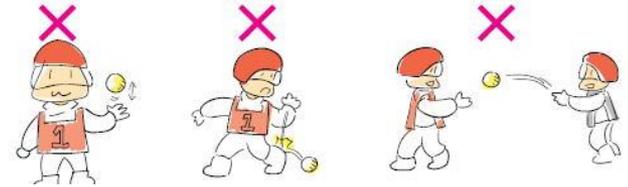
- 勝敗の決定にポイント制を取る

- ★ 相手競技者を全員アウトにしたとき・・・10ポイント
- ★ 競技時間（3分）が経過したとき・・・残り競技者に1ポイント
- ★ 相手チームのフラッグを抜いたとき・・・10ポイント
- ★ 相手コートに4人目が入ったとき・・・10ポイント(相手チーム)

競技者のアウト

次の競技者はアウトとなる。

1. 雪球が**直接**、着衣・体に触れたとき。
2. サイドライン、エンドラインを**出た**とき。
3. 体の一部がコート外に**出た**とき、コート外の雪球に触れたとき。
4. フォワードが自コートのバックラインを**出た**とき。
5. フォワードが自コートバックライン後方のコート上にある雪球に触れたとき。
6. **無効雪球**を使用したとき。
7. アウト競技者から直接雪球を受け取ったとき。
8. 競技中に**不正雪球**をつくったとき。
9. ゼッケン、ウェア等に雪球を隠し持ったとき。
10. 開始時または再開時に、フライングをしたとき。



(図はインターネットより引用)

★出る

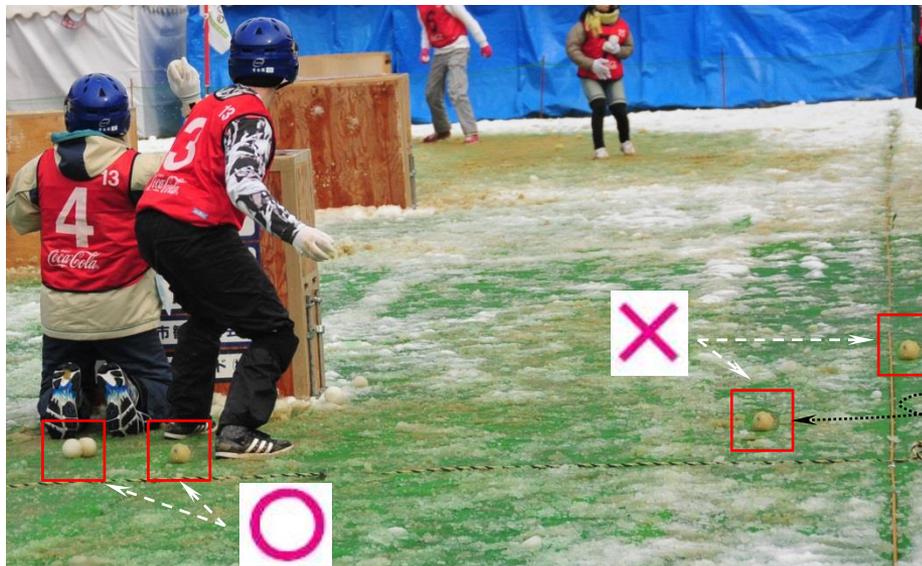
- ・足がライン外に完全に出た場合
- ・体の一部がライン外に出た場合



[戻る](#)

★無効雪球

- ・ 3分の2以下の雪球
- ・ アウト競技者が持っている雪球
- ・ コート外にある雪球
- ・ コート外から入ってきた雪球



★不正雪球

- ・壊れた雪球に、さらに雪を加えてつくり直した雪球



+



- ・壊れた雪球と、他の壊れた雪球を合わせてつくり直した雪球



+



- ・競技中に新たにつくられた雪球



セットの開始、中断、終了

開始

- ★競技者を、それぞれのバックライン上に2個以内の雪球を持って整列させ、主審の合図を待つ。
- ★競技開始は、主審の合図とする。
- ★フライングがあった場合、雪球の補充はせず、開始をやり直す。

中断

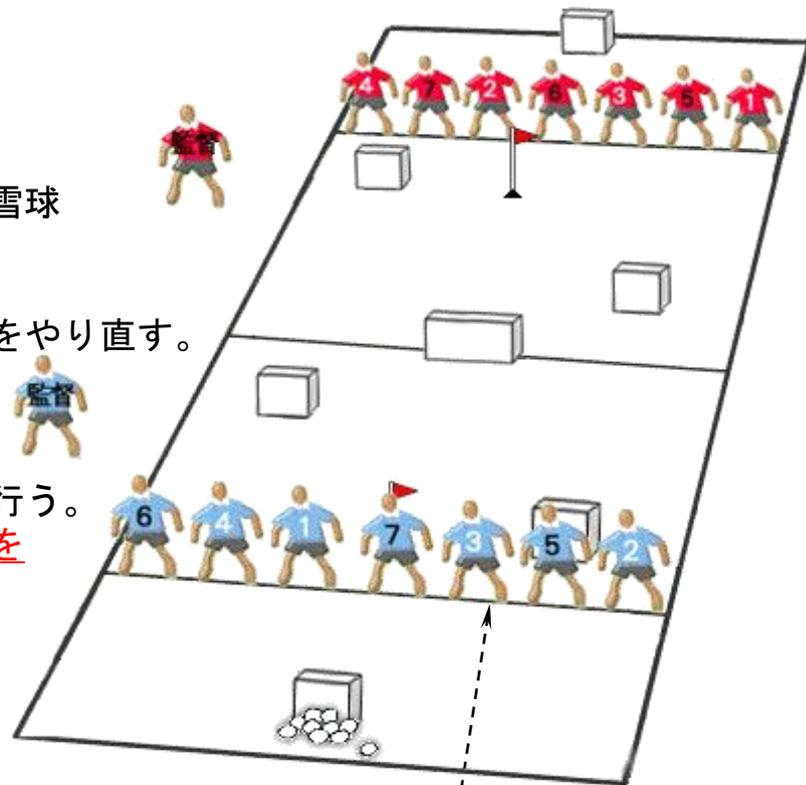
- ★中断は、審判が競技の継続が困難と判断した時点で行う。
- ★中断した時点で、競技者は、手に持った雪球すべてをその場に置き、審判の指示を待つ。

再開

- ★両チームそれぞれのバックライン上に整列し、再開の合図を待つ。
- ★整列時には、新たに自コート内の雪球を1個持つことができる。
- ★競技の再開は、主審の合図による。

終了

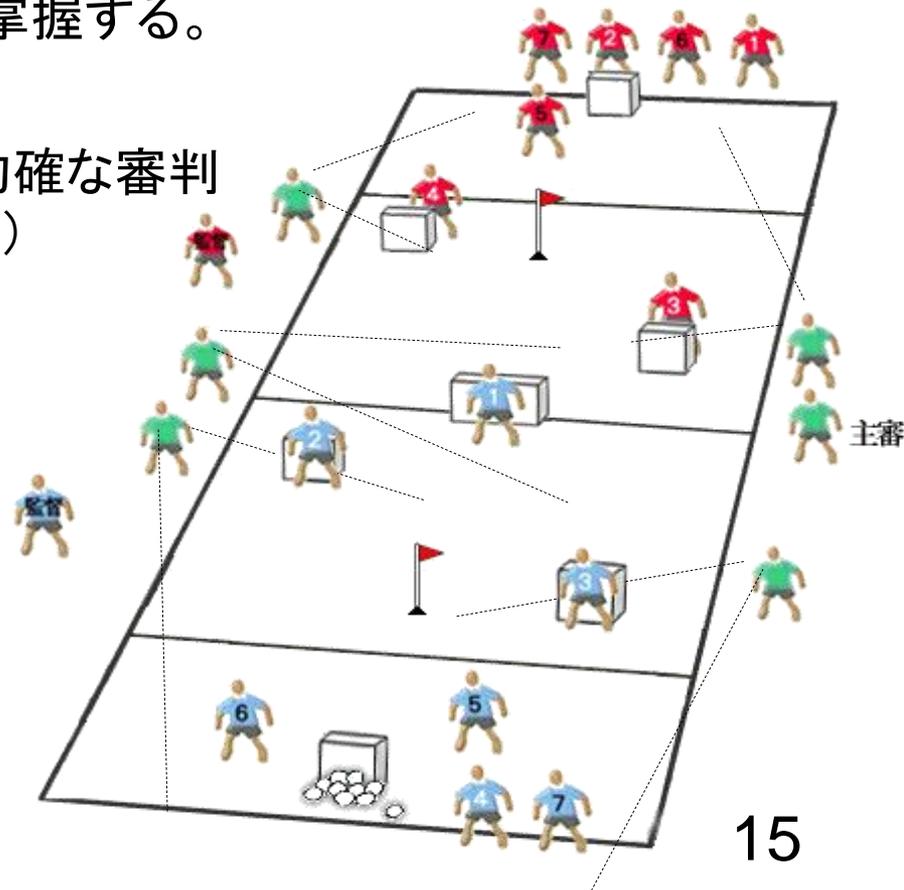
- ★競技の終了は、主審の合図による。



整列時にバックラインに掛ける足は、片足でもよい。

審判員の配置

- 審判員は、主審1名、副審5名以上とする。
- 主審は、副審との連携を保ち試合を掌握する。
- 副審は、定められた範囲を掌握し、的確な審判を行う。**(雪球の行方を追わない!!)**



審判員が行う合図

- セット開始（主審） 両手を左右180度を開いた角度から笛を短く吹くと同時に、水平に体の前に持ってきて止める。
- フライング 笛を短く断続的に吹く。
- 中断 断続的に笛を吹き、両腕を斜め45度前方で数回交差する。
- フラッグ奪取 笛を長く吹き、頭上で片手を数回まわす。
- 終了（主審） 笛を長く吹くと同時に両腕を真上に上げる。
- アウトコール 当該競技者を指し「何番アウト」と宣告する。
(アウト宣告した競技者は、**必ずコート外に出す。**)

注意事項

- アウトコールした選手がそのまま競技を続行する場合は、コート内に入って、その選手を**引っ張り出す**。
- アウトコールによりコート外に出た選手を、速やかにエンドラインより後ろへ行かせる。**(サイドラインの外に立たせない。)**
- 中断がかかった場合は、「そのまま」と言いながら**コート内に分け入る**。
- セットが終了した時、副審はアウトになった選手をエンドラインに、アウトになっていない選手をバックラインに整列させる。
(フラッグ奪取の時でも整列させる。)
- セット開始前に、選手をバックラインに**速やかに**整列させる。主審と反対側の副審が、整列したことを確認して、片手を上げて主審に合図する。

その他

- 競技者の交替 -----
 - 競技者の交替はセット間に行う。
(負傷等で退場した場合でもそのセット中は補充できない。)
 - 一度交替した競技者でも、次のセットで競技に復帰できる。
 - 監督が選手として出場することは可能とする。
(但し、監督が選手として出場中は、監督不在となる)
- 雪球の受け渡し -----
 - 直接手渡しで行う。
 - コート上に置く。
 - コート上をころがす。
 - シェルター・シャトーの上に置く。
- フライング -----
 - 主審が両手を広げてから、開始の合図をする前に、バックラインから足が離れる、あるいは、雪球を投げた時をいう。
競技者は、静止する必要はない。